

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

大学は果外に出たいと思、たのがき、かけて、高1の時から色々な大学のオープンキャンパスに行きました。中でも同志社女子大学は大学の雰囲気も良く、自分が学びたい事に一番近か、たので社会システム学科に受験を決めました。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

単語帳を毎日見て、英単語を覚えています。私は最初、単語数が4500ほどのある英単語帳を使用していましたが、塾の先生に「いきなり単語数が多いものをかむし、らに覚えるより、大学入試に必要な最低限の単語を確実に覚えた方が良い」と言、て頂いたので「単語数が1000ほどのものにレベルを落とし、確実に頭に入れるようにしていました。」

〔夏休み〕

休みがたくさんある分、時間の使い方が大事にな、てくると思、たので、「午前中はここまで、午後にはここまでやる」と計画を立てていました。また、赤本やオープンキャンパスでもら、た過去問の問題集を解いたり、英語に関しては問題形式に慣れるため、他大学で同じような形式にな、っている過去問の問題集も合わせて解いていました。家で勉強してはかど、らない時は塾の自習室に行、て勉強していました。

〔2学期～入試直前〕

周りが小論文対策や面接の練習をしていたり、AO入試です、でに大学が決ま、ている人もいる中、どうしても気持ちの部分で焦、てしまうこともありましたが、周りに流、れず「自分が今何をすべきか」を常に考えて過、さずようにしていました。過去問を時間をはか、て解くのはもちろんのこと、英語のイテ、ムで苦手な所を集中的に見直したり、単語帳も毎日欠か、さず見て最後の仕上げをしていきました。あまり多くの問題集に手をつけるのではなく、自分が厳選したものを確実に覚、えるようにすれば「自然」と力がついてくると思、います。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

受験勉強はもう一人大事ですが、高校の行事はしっかり楽しむべきだと思、います。私も体育祭や文化祭などの行事は楽しく参加していました。勉強をしている時も、途中で疲、れたり眠、くね、てしま、たら少し睡眠をと、て休憩するなど、メリハ、ツが大事だと思、います。

また私は高校の定期テストや模試もおろ、ろかにしたくな、かたので「受験勉強との両立は大変でした、が、受験勉強のために毎日こ、つこ、つと覚、えてきたことが高校の授業やテスト、模試で役、立、たりしたので、着、実に自分の身にな、っているなと実感できましたし、も、っと頑、張、ろうというモチベ、ーションにもつな、がりました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験勉強をしていて思、うように点数が伸びな、かたり、しんど、いと思、うこともあると思、いますが「諦、めず」に「自分はこんなに勉強したのだから大丈夫」と思、えるくらいまで勉強してみ、てくた、さい。その努力が自信につな、がかり、試験当日も落、ち着、いて臨、めると思、います。頑、張、てくた、さい!